

海業の事業計画骨子【静岡県焼津市 焼津漁港】②

3. 海業の方針

「さかなのまち」焼津市のシンボルであり、漁業・水産振興機能とともに都市型ウォーターフロント空間を形成する焼津漁港において、既存の海業への取組と既存ストックの有効活用可能性を活かし、漁業・水産業振興と調和のとれた持続的な“にぎわい創出”と“地域振興”につながる都市型海業振興を展開する。

[取組]

- 焼津PORTERSの取組強化と横展開（既存集客施設や今後の市有地活用施設、旧魚市場会館や深層水関連施設等既存施設の利活用、浜通りゾーンの活性化等との連携）による、総体的な来訪者数の増加・滞在時間の延長、地場水産物を中心とした消費拡大、雇用拡大
- 市有地における、(仮称)水産・観光交流施設の整備による、漁港全体の魅力向上による来訪客数の増加、滞在時間の延長、地場水産物を中心とした消費拡大、雇用拡大
- 経済波及効果の検証により、**随時取組内容のブラッシュアップ**を図るとともに、二次交通整備により漁港全域の魅力施設間のアクセス向上、インバウンドなど新たな観光需要対応、観光コンテンツの開発・パッケージ化、メタバース等を活用した体験・教育コンテンツの開発実践等の**取組全体の付加価値向上ソフトの強化推進**による、漁港での**海業取組全体の魅力向上と来訪客数と消費額の拡大**
- 取組横断的な、焼津漁業・水産業振興波及体制の構築による、**焼津水産物の付加価値化、地場販売消費額の拡大、漁業者所得向上(兼業所得機会の創出含)**、**担い手・後継者確保**

4. 海業の具体的な取組・実施主体（案）・期待される効果



海業計画 スケジュール (案)

事業名	事業主体 (関係者)	実施時期										備 考	
		短期					中期				長期		
		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16～	
① 焼津PORTERS の取組強化と横展開	民間事業者	検討										→	・PT(プロジェクトチーム)による検討継続 ↓ ・焼津PORTERS魅力向上と情報発信機能強化 ・海業関連他機能・施設との連携システムの構築
		↓↑		事業実施					事業継続実施			→	
① 経済波及効果の検証 PDCA	焼津市	実施			必用に応じて、 検証事業実施							→	・PDCA継続(市) ↓↑ ・PT(プロジェクトチーム)による検討継続 ・取組内容等の精査・改良への反映
② 市有地における 水産・観光交流施設整備	民間事業者	検討										→	・PT(プロジェクトチーム)による検討継続 ・コンセプト・公募要件等の練り直し ↓ ・事業者決定→水産物販売・飲食その他海業体験 交流及び宿泊施設等整備・運営 ※市単独用地のため管理者(県)漁港施設等 活用推進計画の対象外
③ 二次交通の整備	民間事業者	実証実験										→	・令和6年度内に実証実験実施(市) ・PT(プロジェクトチーム)による検討継続 ↓ ・持続可能な健全収支による二次交通の稼働(民間事業者)
④ インバウンド等 新たな観光需要対応	民間事業者 海業全関係者	検討					検討継続					→	・PT(プロジェクトチーム)による検討継続 ↓ ・インバウンド・富裕層他海業観光需要対応
⑤ 観光コンテンツの開発 パッケージ化	民間事業者 海業全関係者	検討					検討継続					→	・PT(プロジェクトチーム)による検討継続 ↓ ・浜通りの歴史・文化・景観資源の保全と活用 ・海業全体の連携商品・パッケージ化の取組
⑥ 既存漁港区域内施設 (内港 旧魚市場会館等・ 新港深層水関連施設等) の 利活用検討	民間事業者	旧魚市場会館利活用検討										→	・PT(プロジェクトチーム)による検討継続 ↓ ・旧魚市場会館(内港)等の利活用検討 ・海洋深層水関連施設(新港)等の利活用検討
⑦ メタバースを活用した コンテンツの開発	民間事業者	検討					検討継続					→	・PT(プロジェクトチーム)による検討継続 ↓ ・海業関連施設への波及

ソフトの取り組み

ハードの取り組み